

第三回 百名山の輪 谷川岳 1977m・武尊山 2163m 報告

組織部:下窪義文

- ・とき 2025年10月11日～13日
- ・参加 12名(9クラブ)高桑・前田・豊村(きたろう HC) 大西・中條(雑木の会) 大見(OAR) 水口(くまごろう) 薦田(八尾) 柏原(ハイジ) 井上(溪遊会) 増山(淀屋橋) 下窪(つりばし)
- ・宿泊先 みなかみアウトドア・ログ&オートキャンプ場のバンガロー8人×2棟×2日
- ・交通 レンタカー + 車 2台
- ・参加費 ￥20800-(交通 宿泊 食料)
- ・山行記録

10/11 1班 — 土合～西黒尾根～谷川岳 記録:CL 下窪義文

- ・参加: CL:下窪 大見 水口 増山 前田 豊村 6名
- ・コース:土合登山口～西黒尾根～ザンゲ岩～肩の小屋～トマノ耳山頂～肩の小屋～天神尾根駅舎～ロープW～土合

土合登山口では降っていなかったが西黒尾根途中から小雨となり雨具付ける。一の倉沢の岩壁を期待したが何も見えない。剣剛新道出合いからザンゲ岩の稜線に入ると風も出てきた。肩の小屋に入り体を温める。狭い小屋は登山者で満員。山頂に向かう頃、2班が山頂から下りて来た。トマノ耳登頂し天神平へと下る。天神尾根を止めてロープWで下山する。

7:07. 西黒尾根登山口

11:00. ザンゲ岩

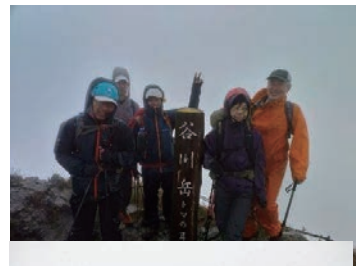
11:21. 肩の小屋 テーブルを確保して大休止。

11:54. 谷川岳トマノ耳風雨の中を順番待ち集合写真

12:05. 肩の小屋から天神尾根へ下る。

12:27. 天狗の溜まり 12:59. 熊六沢避難小屋

13:45. 天神平山頂駅 13:56. 土合駐車場



10/11 2班—土合ロープウエー～天神平～谷川岳

- ・記録: CL:高桑昭夫
- ・参加: CL 高桑 薦田 井上 柏原 大西 中條 6名 西黒尾根からトマノ耳で1班
- ・コース 谷川岳ヨッホ⇄天神平⇄肩の小屋⇄トマノ耳⇄オキノ耳

6:00 前日 20 時過ぎに新大阪を出発し当日 6 時に谷川岳ヨッホに到着するも雨かガスが

第三回 百名山の輪 谷川岳 1977m・武尊山 2163m 報告

組織部:下窪義文

- ・とき 2025年10月11日～13日
- ・参加 12名(9クラブ)高桑・前田・豊村(きたろう HC) 大西・中條(雑木の会) 大見(OAR) 水口(くまごろう) 薦田(八尾) 柏原(ハイジ) 井上(溪遊会) 増山(淀屋橋) 下窪(つりばし)
- ・宿泊先 みなかみアウトドア・ログ&オートキャンプ場のバンガロー8人×2棟×2日
- ・交通 レンタカー + 車 2台
- ・参加費 ￥20800-(交通 宿泊 食料)
- ・山行記録

10/11 1班 — 土合～西黒尾根～谷川岳

記録:CL 下窪義文

- ・参加: CL:下窪 大見 水口 増山 前田 豊村 6名
- ・コース:土合登山口～西黒尾根～ザンゲ岩～肩の小屋～トマノ耳山頂～肩の小屋～天神尾根駅舎～ロープW～土合

土合登山口では降っていなかったが西黒尾根途中から小雨となり雨具付ける。一の倉沢の岩壁を期待したが何も見えない。剣剛新道出合いからザンゲ岩の稜線に入ると風も出てきた。肩の小屋に入り体を温める。狭い小屋は登山者で満員。山頂に向かう頃、2班が山頂から下りて来た。トマノ耳登頂し天神平へと下る。天神尾根を止めてロープWで下山する。

7:07. 西黒尾根登山口

11:00. ザンゲ岩

11:21. 肩の小屋 テーブルを確保して大休止。

11:54. 谷川岳トマノ耳風雨の中を順番待ち集合写真

12:05. 肩の小屋から天神尾根へ下る。

12:27. 天狗の溜まり 12:59. 熊六沢避難小屋

13:45. 天神平山頂駅 13:56. 土合駐車場



10/11 2班—土合ロープウエー～天神平～谷川岳

- ・記録: CL:高桑昭夫
- ・参加: CL 高桑 薦田 井上 柏原 大西 中條 6名 西黒尾根からトマノ耳で1班
- ・コース 谷川岳ヨッホ⇄天神平⇄肩の小屋⇄トマノ耳⇄オキノ耳

6:00 前日 20 時過ぎに新大阪を出発し当日 6 時に谷川岳ヨッホに到着するも雨かガスか

●水口 忍(くまごろう)

① 谷川岳

久しぶりの雨中の行動でした。たまにはすべき行動かと思います。谷川岳は撤退の手段、営業小屋があったので、条件は良かったと思います。一ノ倉沢が見たかったのが心残りです。

②武尊山

計算上のコースタイムがほぼ8時間で、12名と言うことで、ヘッドランプ点灯での行動は想定内でした。日没が早いので朝早くからの行動開始を考えるべきだったかもとは思いますが。府連の主催行事ということで、リスクが上がる行動があるかなしかは、標準を決める方がいいかも知れません。誰でも参加可での百名山なので、なかなか難しい問題です。

●井上真由美(溪遊会)

希望によってコースを選べたので安心して参加できました。谷川岳は雨で、稜線では風が強く寒かった事や雨対策などいい経験になりました。夜はみんなで鍋を作り地酒で乾杯、楽しく交流できました。翌日は青い空に紅葉、熊笹が美しく武尊山の景色を堪能。下山道がぬるぬるで滑らないように気をつけ時間がかかりました。

●増山路子(淀屋橋)

谷川岳山行は、雨の中での行動となったが登山道を歩けたことが嬉しい。これが西黒尾根か！と感慨深く、景色が見えないながらワクワクする。双耳峰の両耳はタッチする体温と気力はなかったが登山体験そのものに感謝。そのご褒美のような武尊山。淡い黄色の斜面に銀緑の笹原や色合いを変える。ダケカンバ・赤や黄の低木紅葉。素晴らしい景色に感動。秋の山の魅力満載に感謝の言葉しかありません。楽しかったです。

●中條加奈子(雑木の会)

「谷川岳」に惹かれて、労山の山行に初めて参加させていただきました。

2日目、須原尾根から見る「武尊山」の眺め、越後駒ヶ岳？の稜線がきれいでした。皆様からやさしく声をかけていただき、ロープ場や岩場の昇り降りの仕方やストックの使い方等を教えていただきました。バンガロー(快適でした)での夜の反省会も山を愛するみなさんの熱いお話が聞けて楽しかったです。計画書の段階からの細かいアドバイス、とても参考になりました。参加者の皆様大変お世話になりました。私にはなかなかハードな山行でしたが、「百名山の輪」また参加したいです。

●薦田薫（八尾山の会）

初回から参加させて頂いている百名山の輪、今回は2座、行けるだろうか？行きたい！！自分の体調からして、初日の谷川岳は私だけでも往復ロープウェイを使わせて頂き、2日目の武尊山に温存したいと思っていました。

スタートから小雨だったこともあり、2班は皆でロープウェイ往復に決定、結果大正解。山頂ではかなり天候も悪かったけれど、何とかオキノ耳、トマノ耳に登頂できて、すごく嬉しかったです。

1班の西黒尾根チームは、雨の中すいすいと駆け抜けて行かれました。すごい！！

2日目の武尊山から剣ヶ峰周回は、初日と違い、快晴でした。

けれど、岩場やロープ場など、想像していたよりずっと大変で、時間を消費してしまい、下山時は真っ暗になってしまいましたが、本当に楽しくて、思い出に残る山となりました。

初のバンガロー泊や、皆さんとの食事会、色んなことが有意義で、楽しく、良い経験となりました。ケガも事故もなく無事2日間を終え、帰阪することができ、一緒に頂いた皆さまに心より感謝申し上げます。

●大西薫（雑木の会）

「百名山の輪」の企画を目にしたときから参加を楽しみにしていた谷川岳でした。当日谷川岳の天気は雨、山頂はガスって真っ白でしたが、木道、岩場や鎖場など変化のある登山道には色ずき始めたナナカマドもあり、秋を感じる山行でした。

2日目の武尊山は、急登、ぬかるみ、連続する登りの鎖場に足元が見えずロープを頼りの激下り、さすが百名山と思える気の抜けないルートでした。下り途中で日が暮れ、真っ暗な山道をヘッドライトを付け、ルートファインディングしたことは、よい経験となりました。他会の方々とも話すことができたので、今回、参加できたことに感謝いたします。

●豊村耕治（きたろう）

今年きたろうハイキングクラブに入って10度ほど山登りに参加し、今回の百名山登山となりました。申し込みしてから2日連続で百名山に登れるか不安でしたが、何とか登れて達成感で溢れました。ありがとうございました。特に武尊山の下りと谷川岳の頂上の雨の中の寒さが非常にインパクトがあり、レインウェアの重要性、服の着回しなど勉強になりました。登山ルートの計画、時間配分も重要ですが、山の急激な天候の変化による寒さ対策の大切さを身をもって経験できました。皆さんとの楽しい山行をありがとうございました。

●前田長治(きたろう)

良い意味で、多くの経験をしました。夜間の車移動、バンガロー泊、暴風雨の中での登頂、ヘッデン使用の下山。ありがとうございました。

●大見則親(アウトドアオールラウンダーズ)

ご一緒いただいた12人の皆様へ

遠方の山に行くチャンスは少なく、期待した以上に楽しい山行でした。本当にありがとうございました。雨の登山も、ヘッドランプ登山も、とても好きですよ、(皮肉でもなく何でも無いです)そして皆さんと乗り越えられた事と、武尊岳の縦走の美しさは、とても良い思い出になります。またどこかで再会を願って、感想の言葉といたします。

●下窪義文(つりばし)

- ・西黒尾根は谷川岳の代表する尾根で、雨模様の中を登れたことは良かった。
- ・一の倉沢を眺めることができなかった。
- ・谷川岳は2班に分けての行動は良かった。
- ・初めて参加のレベルが分からなかったが、歩いていると次第にわかってきた。
- ・2日目のスタート時間を早めるべきだった。体調の問題もあり難しい点もある。
- ・西黒尾根はヘルメット持参したが、武尊山は持参しなかった。鎖場で先行の落石があり声をかけるよう注意すべきだった。
- ・12人パーティーでは行動に時間かかり、2班に分けるべきだった。
- ・谷川、武尊山も手ごたえのある山だった。・テント泊もできたが、大勢ではバンガローで交流の輪ができて快適だった。値段もテン場と変わらない。



西黒尾根鎖場



バンガローで夕食



武尊山から剣ヶ峰

武尊山の鎖場⇒

